

令和4年度体力づくり推進計画 ＜全体計画＞

達成目標

- 体育科授業の充実、外遊び奨励の取組を通して、運動に親しむことができる児童を増やす。
- 新体力テストで全国・県平均を下回る項目14以下を目指す。

学校の状況

- ・市郊外に位置し、児童数およそ300人弱である。
- ・運動場は、児童が運動するのに十分な広さであるが、全校児童が一斉に活動する際には運動が限定されてしまう。
- ・運動場の使用を制限した。
- ・体育的行事を縮小した。

児童生徒の運動・生活習慣の実態

- ・「運動や体育の授業が楽しい」と肯定的回答をした児童は89.8%であった。

新体力テスト、アンケート調査等調査結果との比較から

- ・領域別体育技能の実態調査では、「二重跳び」をどの学年においても、目標の80%以上を達成することができた。「みながんピック」のがんばりカードも意欲を高めた。
- ・「逆上がり」は、低学年のみ目標を達成することができた。低学年からの積み重ねが大切である。
- ・「開脚跳び」は高学年において目標の80%以上を達成することができた。

実態把握

児童生徒の実態や新体力テスト等から明らかになった課題

- ・生活の中で、体を毎日動かしている児童とほとんど動かしていない児童に分かれており、二極化の傾向がある。
- ・体力面において、二極化する児童に運動習慣を確立させるために、体育科授業の充実とともに、遊ぶ時間の確保や場の確保、遊び方の指導等、全校で組織的に取り組む工夫が必要である。
- ・児童に家庭でも運動を行うようにさせるために、家庭学習の中に体育的活動を位置付ける等、家庭との連携の中で生活全般を見直す工夫が必要である。
- ・規則正しい生活習慣を身に付けるために、「睡眠時間の確保」「バランスのよい食事」の大切さを学級懇談や通信等で、家庭へ呼びかける必要がある。

課題解決に向けた取組事項

- ① 体育科での取組（保健安全部を中心に）
 - ・体づくり運動を中心に、日頃経験しない動きを意図的に行わせるようにし、基礎的な運動感覚を身に付けさせる。（みながんピック、新みながトレーニング、コーディネーショントレーニング）
 - ・授業の導入で、雰囲気高める運動を行うことで運動の楽しさを味わわせ、運動に親しむことができる児童を増やす。（コーディネーショントレーニング）
 - ・体育科の校内研修を行い、全教職員の指導技術の向上を図る。
- ② 児童会体育委員会の活動推進
 - ・児童が自発的に企画・運営し、目標をもって外遊びをし、体力を向上しようとする機会と場を設定する。
- ③ 外遊びの推奨
 - ・月1回のロング昼休憩など、外遊びを推奨し、体を動かす機会を保障する。
 - ・3月の全校大縄クラスマッチに向けて、クラスごとに練習し運動する機会を増やす。
- ④ 生活改善の家庭へ情報発信（養護教諭を中心に）
 - ・食事や睡眠を中心に自分の生活習慣を見直すことを通して自分の健康実態に関心をもたせるようにする。また、生活を改善するための保護者へ情報発信を積極的に行う。

期待される効果

- ・体育科の時間が楽しみになり、運動が好きな児童が増える。
- ・新体力テストの結果が向上する。
- ・休憩時間に外で遊ぶ児童が増え、毎日体を動かす児童の割合が増える。

体制

- ・保健主事・保健安全部が中心となり、カリキュラム・マネジメントに基づいた体育科授業の計画・実施、創造を行う。全教職員で研修の機会をもち、全校体制で体力の向上に努める。
- ・月1回保健安全部会を開催し、情報の共有や児童の体力向上への取組推進を図る。
- ・児童会体育委員会の指導を通して、児童自らが体力向上のための活動を行うことができるようにする。

推進組織

令和4年度体力づくり推進計画

<年間指導計画>

東広島市立三永小学校

様式②

達成目標

- 体育科授業の充実、外遊び奨励の取組を通して、運動に親しむことができる児童を増やす。
- 新体力テストで全国・県平均を下回る項目14以下を目指す。



